

緊急アピール

2019年8月31日
自由民権会議@神奈川

8月22日、林文子横浜市長は記者会見で、それまで「白紙」としてきた、カジノを含む統合型リゾート（IR）事業の山下ふ頭への誘致を表明しました。この突然の表明に驚きとともに、多くの疑問と強い怒りを禁じえません。

市長は、今後の人口動態と財政の見通しについてふれ、誘致への大きな要因としています。しかし、少子高齢化の問題は、横浜市に限らず、日本全体の問題です。それに伴う、財政の問題もそうでしょう。行政・議会だけでなく、すべての市民がこの課題を共有し、検討していくべき課題です。

で、あるならば、その横浜の将来を市民と語り合しましょう。必要な財源についても情報公開を行いながら、議論しましょう。記者会見で突然将来の市財政の深刻さを語り、事もあるうにカジノを含むIR誘致事業収入で、この将来の不安を解消するとの提案には全く理解できません。

そして、最大の問題はカジノです。カジノは賭博、博打、ギャンブルです。二年前の市長選、その秋の衆院選時の世論調査でも、7割近くの横浜市民が反対しています。ギャンブル依存症、治安や風紀の乱れ、マネーロンダリング、反社会的勢力の助長等、生活崩壊や地域破壊に結びつくカジノは、横浜に必要ありません。市長は、カジノ（IR）の経済効果を説明するばかりで、こうした負の側面にかかるマイナスのコストについては何ら言及がありませんでした。

私たちは、以上の理由から、横浜港、山下ふ頭へのカジノ誘致には断固反対します。市長が直ちにとるべき行動は、カジノ（IR）誘致のための補正予算、議案の撤回です。その上で、市内各区で対話集会を開催し、市民の声に真摯に耳を傾けることです。いずれも拒否されるなら、私たちは、市民不在のカジノ（IR）誘致の撤回を求め、あらゆる手段を行使する決意です。

以上